



行發十二月九
動員送り... 内匠頭... 木村長門守... 御失念... 本日五郎... 御願ひの儀... はござるまいな... 「ハッ、有難き御忠告、肝つて罷り出でまし、ござい... に銘じ申し上す。」

随たにし
二尺たらずの池に、鉢植... 盛夏らしくもなく足裏に... の睡蓮を浮かべ、田圃から... 冷たのおよふ夜半、池か... とつて来た田螺を伺つてゐ... ころろと登りだした。こゝろ... 蛙が鳴くのこゝろ、あつ... その聲を聞きながら、あ... 田には折藤若達に食はせ... まいと思ふ。

馬跳ひ
永芳
晴れた、よ... 秋晴れだ... 皆んな来い... 跳んで遊ば... 早く跳べ... 秋晴れだ... 跳んだらか... 跳ら跳よ... 飛ぶ、トンプ...

馬跳ひ
永芳
晴れた、よ... 秋晴れだ... 皆んな来い... 跳んで遊ば... 早く跳べ... 秋晴れだ... 跳んだらか... 跳ら跳よ... 飛ぶ、トンプ...

連珠
異説
別題「異説赤穂浪士」
別題「赤穂浪士」
桃川若燕

神馬の決心
「道は以て外の仰せ、何の事でもござい... 近寄ると田螺はすくなく、選... つよの中にしまひ込む、選... 音が高ければ、急ぎ身をす... 水の上には沈んでしまふが... しばらく待つと、田螺をひ... こりひよ、りさせながら、め... めたい體をそろそろ伸して... 日さへ照つておれば、のん... のんと水の温んだ池のふら... へ上つて来るのだ。

池の上には白萩が枝をさ... しのへ、ある。梅雨模様... 雲は御恨めしく存じ奉り... 雲は御恨めしく存じ奉り... 雲は御恨めしく存じ奉り...



神馬の決心
「道は以て外の仰せ、何の事でもござい... 近寄ると田螺はすくなく、選... つよの中にしまひ込む、選... 音が高ければ、急ぎ身をす... 水の上には沈んでしまふが... しばらく待つと、田螺をひ... こりひよ、りさせながら、め... めたい體をそろそろ伸して... 日さへ照つておれば、のん... のんと水の温んだ池のふら... へ上つて来るのだ。

池の上には白萩が枝をさ... しのへ、ある。梅雨模様... 雲は御恨めしく存じ奉り... 雲は御恨めしく存じ奉り... 雲は御恨めしく存じ奉り...

馬跳ひ
永芳
晴れた、よ... 秋晴れだ... 皆んな来い... 跳んで遊ば... 早く跳べ... 秋晴れだ... 跳んだらか... 跳ら跳よ... 飛ぶ、トンプ...

馬跳ひ
永芳
晴れた、よ... 秋晴れだ... 皆んな来い... 跳んで遊ば... 早く跳べ... 秋晴れだ... 跳んだらか... 跳ら跳よ... 飛ぶ、トンプ...

連珠
異説
別題「異説赤穂浪士」
別題「赤穂浪士」
桃川若燕

神馬の決心
「道は以て外の仰せ、何の事でもござい... 近寄ると田螺はすくなく、選... つよの中にしまひ込む、選... 音が高ければ、急ぎ身をす... 水の上には沈んでしまふが... しばらく待つと、田螺をひ... こりひよ、りさせながら、め... めたい體をそろそろ伸して... 日さへ照つておれば、のん... のんと水の温んだ池のふら... へ上つて来るのだ。

池の上には白萩が枝をさ... しのへ、ある。梅雨模様... 雲は御恨めしく存じ奉り... 雲は御恨めしく存じ奉り... 雲は御恨めしく存じ奉り...

産婦人科
井坂醫院
見習看護婦入用
平市田町 電五五九

西村屋藥局
藥品百貨
西村屋藥局

魚は凍魚
御製平製米
魚は凍魚

吉田眼科醫院
平市紺屋町 電話六八番

レストラン
平市銀座街
電話五九二

生スツポンの
平市六丁目通

高久病院
平市田町 (電話五三一)

鈴木醫院
平市紺屋町

日本姓名學會東北支部長
鶴沼孝昌
平市紺屋町 三六

高島屋
平市二丁目 電話三八六

吸入用酸素
純度99%

時局ノ生ダ新案特許
日ノ丸習字板

